

(議事要旨)

「彦根港・長浜港における防災機能の向上（防災・安全）」の事後評価

●委員

最後の、今後の方針の案についてですが、長浜港岸壁耐震化の全体計画の方針案があればお示しいただきたい。

○事務局

本計画の対象は 40m だが、全体としては 129m の耐震化すべしとし、令和 14 年完工を目標としている。

●委員

長浜、彦根、他の港もそうかもしれないが、観光利用がメインの港。防災拠点については、物資輸送がメインになると思うが、今回整備した内容で、緊急時に十分な有効な面積が確保されているのか。

○事務局

もともと大規模災害時の湖上輸送に関して、阪神淡路大震災以降、検討調査等を複数回行ってきたところ。彦根港については、緊急物資のストックヤードを 2500m² 確保している。これは、およそ 3 万 5000 人分の緊急物資をストックすることができるもの。1 人あたり必要な物資の量を 9 kg として、物資 1 t 置くのに必要な面積が 8m² として算出されている。当然物資は流動する。入ってきて、たまって、出ていくものなので、一時的に面積が不足する場合もでてくるので、備蓄施設用地はバッファーとしての利用を想定している。

●委員

一般的な港湾施設では、荷の積み下ろし施設があるが、彦根港にはあるのか。

○事務局

まず運航している船が、通常観光の旅客船のみ。琵琶湖の場合は、コンテナを積載する船などは一切ない。平時の貨物輸送はなく、ガントリークレーンなどの荷役機械はないという状況。

●委員

基本的に人力で積み下ろしするということですか？

○事務局

はい。

●委員

とすると面積的なキャパシティだけではなくて、マンパワーの部分も考えておかな

いと、せっかく施設があるのけれども、ということになりはしないか。

○事務局

それは以前からも指摘をいただいているところ、ただ一方で防災目的だけのために、貨物輸送ができる船や施設を整備するというのはきわめて非現実的。したがって、人の手配をどうするかということは防災危機管理局ではそういった側面も含めて改めての調査をしているところ。また一方で、琵琶湖には観光船だけではなくて、工事用の台船もいくつかある。その台船では、重機やトラックも積んで輸送することもできるので、それらを現実的には活用しながら緊急時には展開していくということを想定している。

●委員

災害時ってというのは、何がどういう風に起こるかわからないが、道路が寸断されるほどの災害が起きたけど、湖上は有効に使えるものなのか。湖岸に近いところにヤードを設置されているが、災害時の想定はどうされているのか。彦根港の耐震化は済んでいるのか。

○事務局

彦根港は耐震化が済んでいる。主にうみのこが停泊する物揚場は、平成18年～20年度に行っている。実際に災害が発生した際、どのように有効に機能するかですが、広域湖上輸送の基本的な考え方として、発災時に使える場所を使うということを前提としている。したがって、指定している18港のすべてが確実に使えるものにするということまでは目指していない。ただ、県管理の港については生産性を高めるため、耐震化を優先して行うということを行っている。長浜が完了すれば、大津・彦根・長浜のすべてが耐震化完了する。ただ、背後地に関しては、すべてを耐震化するというのは現実的な話ではない。能登半島地震時に背後地の液状化が問題になりました。これをどうしていくのかについて、国交省でいままさに議論がされているところ。したがって、本県としてはまず耐震強化岸壁を整備すること、そののちに背後地も含めて検討していくこととしている。

●委員

長浜港に関してですが、令和3年度以降は別の事業に移ったということですが、予算はどのような扱いになっているのか。分母となる予算は、令和2年度までの予算なのか、令和4年度までの予算なのか。

○事務局

令和2年度までの予算になります。

●委員

46.8mというのは、令和4年度までに実際に出来上がったものが46.8mってことだとおもいますが、今回の事業評価に含めてよいのかが少しに気になるところではあるのですが。

○事務局

たしかに、117%をどう評価するかというのは悩ましいところかと思っている。ただ、別事業といいながらも、重点配分受けたかどうかということなので、同じ延長上にあるものと考えている。令和2年度末は未達成になっている。未達成になった理由としては労務費や材料費の単価上昇により事業費が高騰したものと考えている。

●委員

この計画期間というのは、H30～R4で計画されているんですね？全体延長L＝129mのうち、残りの計画見通しはどうなっているのか。労務費材料費の高騰があるが、計画はどのように考えているのか。

○事務局

全体計画に対して、現状の進捗状況を参考にお伝えしますと、R6年度末時点で50%を超える見込み。現在のペースで行きますと令和14年度に完了予定。ご指摘のとおり、労務費材料費等は大きく上昇しているため、今後予算額を確保していく必要があるとは認識している。

●委員

長浜港は延長しか記載がないが、面積でいうとどれくらいになるのか。

○事務局

面積できっちり算定できないが、目安でいくと $13 \times 129 = 1677\text{m}^2$ 単純計算すると 1677m^2 になる。

●委員

耐震化したのは、下からしてきているのはどんな意図があるのか。

○事務局

琵琶湖側から行っているのは、うみのこの発着エリアから優先しているため。

(以上)